

回復期リハビリテーション病棟
管理栄養士必携



一般社団法人

回復期リハビリテーション病棟協会

Kaifukuki Rehabilitation Ward Association

栄養委員会

巻 頭 言

リハビリテーションは（運動）学習を核とする医療です。臓器別というよりも、臓器横断的な考え方で対応し、筋力低下などの機能障害、歩行障害などの能力低下、そして家や社会生活面での社会的不利に立ち向かいます。栄養に関する知識や実践は、直接的な嚥下障害対応から、筋力増強等の土台、そしてモチベーションの面まで多岐にわたり必要です。

回復期リハビリテーション病棟はリハビリテーションのために設定された病棟であり、チームを組んで医療に当たります。そのチームの主力メンバーとして管理栄養士が位置づけられます。これは2018年度診療報酬改定でもはっきりしてきた現実です。チーム医療では、各々のメンバーに実力のあることがまず必要ですし、かつ、対応する患者に合わせて担当領域を柔軟に編み上げる職種横断的（transdisciplinary）な動きも大切です。管理栄養士の皆さんにも、低栄養状態や運動に関わる栄養学に長けていて、かつ、患者さんが何を目的としてどのメンバーがどんな対応しているかを知っている仲間として活躍して欲しいと思います。

この本が、管理栄養士のスキルアップ、そして回復期リハビリテーション病棟のレベルアップ、リハビリテーションを必要とする全ての患者さんたちに貢献することを願っています。

（一社）回復期リハビリテーション病棟協会会長
藤田医科大学七栗記念病院（医師）

園田 茂

“管理栄養士必携”を手にも病棟へ！

回復期リハビリテーションの管理栄養士は、栄養専門職としての知識と技術を持ちつつ、チームの一員として貢献することが求められています。単に病棟へ足を運ぶだけではその役割を果たすことは難しいといえるでしょう。管理栄養士として何を実践すべきなのか、どこにリーダーシップを発揮すべきなのか。具体的・実践的に役立つように今回新たに作成したのが本書“回復期リハビリテーション病棟管理栄養士必携”です。

病棟の機能や目的、他職種の役割や ICF など、回復期リハビリテーション病棟に関わる管理栄養士が理解しておくべき知識を最初に掲載しました。最も重要な管理栄養士業務については、入院当日から入院中、退院前から退院後のフォローアップまでより具体的な内容を盛り込んでいます。一名勤務の管理栄養士やケアミックスによる病棟兼務、給食業務との兼ね合いなど、多様なニーズの中で働いている管理栄養士はまだ多いのが現状です。病院で実際に使用している栄養管理のフローチャートや書類など、すぐに参考にできる資料も網羅しました。

本書を作成するにあたり、一手に編集を担った西岡委員をはじめ、栄養委員、理事、そして協会各委員会の協力により冊子として形にすることが出来ました。また、会員の皆様からのご意見を基に疾患の治療・管理・リハビリテーションの総論や ADL の項目を追加し、より現場のニーズに応えた内容になったと思います。ご協力下さった皆様へこの場を借りて御礼申し上げます。

さあ、準備は整いました。あとは実践するのみです。本書を活用することで、患者さんの笑顔とチーム、そしてあなた自身の成長につながることを期待しています。

(一社) 回復期リハビリテーション病棟協会栄養委員長
熊本機能病院 (管理栄養士)

高山仁子

目次

1. 回復期リハビリテーション病棟とは何か	1
①回復期リハビリテーション病棟に関連する診療報酬制度.....	1
②回復期リハビリテーション病棟におけるチーム医療	8
③医師の役割	11
④看護師の役割	15
⑤介護福祉士の役割.....	17
⑥理学療法士の役割.....	21
⑦作業療法士の役割.....	23
⑧言語聴覚士の役割.....	25
⑨社会福祉士の役割.....	28
2. 回復期リハビリテーション病棟における栄養ケアの意義と管理栄養士の役割	32
①入院対象疾患／併存疾患の治療・管理・リハビリテーション	32
②国際生活機能分類（ICF）と栄養	42
③回復期リハビリテーション病棟における栄養ケアのエビデンス	45
④栄養ケア体制を構築する	49
⑤臨床データの管理.....	53
⑥求められる管理栄養士像	55
3. 回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士業務の実際	58
①業務の概要	58
②栄養スクリーニング.....	60
③栄養アセスメント.....	63
④日常生活動作（ADL）の評価.....	67
⑤摂食嚥下障害の評価.....	70
⑥必要栄養量の算出.....	74
⑦栄養ケアプランの立案・実施.....	77
⑧リハビリテーション実施計画策定への参画.....	80
⑨栄養モニタリング.....	83

⑩カンファレンスへの参加	85
⑪退院支援（栄養指導・調理指導・栄養ケアの調整・情報提供）	88
⑫フードサービスへの関与（給食業務委託）	91
⑬フードサービスへの関与（給食業務直営）	93
4. 生活期との連携	96
①生活期との連携に必要な視点	96
②栄養ケア情報の共有・提供	99
③退院後のフォローアップ	101
④居宅療養管理指導（在宅訪問栄養指導）	104
5. 回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士業務の実例	107
①ケアミックス型病院（給食業務委託）：恵寿総合病院	107
②ケアミックス型病院（給食業務直営）：美原記念病院	113
③回復期リハビリテーション専門病院（病棟専任）：西広島リハビリテーション病院	116
④回復期リハビリテーション専門病院（病棟専任）：東京湾岸リハビリテーション病院	120
⑤回復期リハビリテーション専門病院（病棟専従）：長崎リハビリテーション病院	127
⑥回復期リハビリテーション専門病院（病棟専従）：初台リハビリテーション病院	134
6. 管理栄養士のアプローチの実際	139
①脳卒中症例に対する栄養ケア	139
②大腿骨近位部骨折症例に対する栄養ケア	143
付 表	147

回復期リハビリテーション病棟管理栄養士必携

第1版：平成31年2月21日発行

編 集

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 栄養委員会

栄養委員長	高山 仁子	(熊本機能病院)
副委員長	漆原 真姫	(やわたメディカルセンター)
責任編集	西岡 心大	(長崎リハビリテーション病院)
委 員	桐谷 裕美子	(初台リハビリテーション病院)
	新谷 恵子	(船橋市立リハビリテーション病院)
	渡邊 美鈴	(美原記念病院)
	中込 弘美	(東京湾岸リハビリテーション病院)
	影山 典子	(西広島リハビリテーション病院)
	小蔵 要司	(恵寿総合病院)
担当常任理事	岡本 隆嗣	(西広島リハビリテーション病院)

発 行

一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9 階

電話：03-5281-8531 FAX：03-5281-8535

E-mail：kaifukuki@rehabili.jp ホームページ <http://www.rehabili.jp/>